



"To acknowledge the duty that accompanies every right"
 Affiliated with the International Association of Y's Men's Clubs

THE OSAKA CENTENNIAL

C/O KITAMURA BUSINESS CONSULTANTS OFFICE
 503 Shinsuibashi Urbanlite
 1-5-12 Nishi-Shinsuibashi Chuo-ku
 OSAKA 542 JAPAN

JULY 1996. No. 1
 The Service Club to the YMCA
 Chartered September 25, 1982

MOTTO (1996~1997)

- I P "Learn Implement Impart" 「学びと奉仕と分かち合い」
- A P "Restoring the Creation Order of God" 「天地の調和を取り戻そう」
- R D "New Regions and Forward" 「新リジョン! さあ前進!」
- D G "Y's First"
- C P 「進んで参画しよう。」



= 月間強調テーマ: 「キックオフ・IBC」 =

= 7月の聖句 =

あなたがたも聞いているとおり、「目には目を、歯には歯を」と命じられている。しかし、わたしは言うておく。悪人に手向かってはならない。だれかがあなたの右の頬を打つなら、左の頬をも向けなさい。

(マタイによる福音書 第5章 38-39節)

《今月の聖句によせて》

この聖句の最初の所にある「目には目を、歯には歯を」は、目を傷つけた者はその目を傷つけられ、歯を折った者はその歯を折られるという古来より共通の報復律で、聖書に起源をもつ言葉としてよく知られるが、その意味を、復しゅうを正当化するスローガンだと誤解する人が少なくない。聖書の教える意味は逆で、聖句の後半にあるように、復しゅうするな。むしろ愛をもって復しゅうに代えよ。“なんじの敵を愛せよ”と説いているのである。

(聖句撰・解説: 田中 穰二)

7月第1例会

日時: 1996年7月17日(水) 6:30 ~ 8:30 p.m.
 場所: 大阪グランドホテル

司会: 三浦直之君

1. 開会点鐘 栗山佳三 会長
2. ワイズソング ー 同
3. 聖句朗読 山村幸明 君
4. ゲスト紹介 栗山佳三 会長
5. 日々の糧及び黙禱 ー 同
6. 晩餐 ー 同
7. 中西部長メッセージ 今村一之 中西部長
8. 新旧会長交替式 司式 今村一之 中西部長
9. 会長新年度方針表明 栗山佳三 会長
10. 入会式(河村実君) 栗山佳三 会長
11. 卓話: “最近のIBCの動きについて” 谷川寛 君
12. お誕生日祝い ー 同
13. ニコニコ献金 ドライバー
14. 役員会・委員会報告・YMCAニュース
15. 閉会点鐘 栗山佳三 会長

6月在籍者	6月出席者		6月出席率	BFポイント
29名	第1期	第2期	55.2%	6月分切手 290 gr.
広義会員	メン 14名	10名	(メキヤ7名)	現金 2,500円
0名	メネット 7名	0名	前月出席率	本年累計
合計	コメット 0名	0名	修正 - %	切手 6,350 gr.
29名	ビジター 0名	0名		現金 5,000円
	ゲスト 2名	1名		(購“6月分BF誌”をご懇願 封.)
	合計 23名	11名		

役員
 会長: 栗山佳三
 副会長: 秋月利英
 “: 山田孝彦
 書記: 三浦直之
 “: 藤原正巳
 会計: 津田葉清政

6月ニコニコ献金
 17,500円

◎ 7月第1例会当番: (第3班) 田中君, 山村君, 三浦君, 坂本君, 平田君,
 会場の受付・準備・後片付けなど宜しくお願いします。



(「一年間を顧みて」挨拶される柴田直前会長)



(転会の挨拶をされる出席主事の真嶋克成君)

= 6月第1例会報告 =

三浦直之

柴田会長の任期最後の例会が、坂本メンの司会で始まった。坂本メンはセンテニアル入会后、間もない司会であったが、なかなか上手で、ワイズの環境で過ごされてきた証明をされた。

◇ 柴田会長挨拶「1年間を顧みて」◇

会長を引き受けるのは全くの予想外でしたが、今振り返ると、会長をしてよかったと思う。それは、人前で話すことに慣れたこと、多くの人との交流の場がもてたこと、夫婦一緒にワイズの行事に参加する機会が増えたこと等を挙げられた。そして今後の課題としてなかのしまクラブの近々の誕生を、次期栗山会長に託された。

◇ 西副区大会報告 ◇

参加者を代表して山田メンが報告、約600名と大勢の参加があり、屋外での大会であったので、手づくりの大会という印象を持った。ホストの方々が大変よくしていただいた由、センテニアルも見習いましょう。

◇ 東副区大会報告 ◇

鈴木メンより報告あり、参加者は約300名。ホストは北見クラブ、14名の少人数のクラブながら、よく準備、運営をされたとのこと。北海道での大会を満喫されたようです。

◇ センテニアル優(遊)秀Y's表彰 ◇

年度末恒例の表彰がされた。メンバー全員にそれぞれの賞が贈られた。これを励みに来期も頑張らしよう。

◇ 真嶋克成氏ご挨拶 ◇

出席主事として永年尽力された真嶋克成氏が、7月より角館長と交替することになった。これに伴いわがクラブ例会への出席は今回限りとなり、同氏より御挨拶があった。尚、Y'sとしての転会先は目下検討中とのことです。

◇ その他報告事項 ◇

●チャリティランの報告があった。我部は、宣言タイム制で、第5位と大変良い成績をおさめた。全体の収益面では、エントリー料200万円、バザー30万円、協賛金70万円と盛況であった。

●なかのしまクラブ報告。杉浦メンより経過報告があった。メンバーも20名近くとなり、設立準備の計画も具体的な段階になってきた。メンバーの意気込みも、もちろんながら、私達も親クラブとして、できるだけだけの応援をしましょう。

◇ 最後に ◇

柴田会長、1年間本当にご苦勞様でした。お蔭様で私共も楽しく過ごすことができました。今後も直前会長として、よきアドバイスをお願いします。

= 6月第2例会報告 =

(6月26日(水) 6:30-8:30 p.m.)

1. 佐藤勝雄氏退会をやむを得ず承認。(出来ればまた復帰したい旨、同氏は言っておられる。)
2. 森晴美さんのメネット会員退会をやむを得ず承認
3. 7月第1例会プログラム:別掲の通り。
4. 8月第1例会:なかのしまクラブも含め土佐堀クラブと合同でビアパーティを8/21(水)に開催する。本件について6/28関係者が打合せをする。
5. 出席率低下への対処について:継続審議とする。
6. 例会会場使用料値上げの件:平田君が交渉されて2,700円の案が出され、これを承認した。
7. 関西ののちの電話を応援:(黒田君説明)チャリティコンサート(8/20)入場券(¥1,500)を応援することとし、7月第1例会にて配布する。
8. なかのしまクラブ設立総会:中西部会と同日に行う予定にしていたが、他の会合に埋没しないことを条件に関係者と折衝することになった。
(本件折衝の結果、別掲の通りになりましたので、皆様方の御協力をお願いします。)

《「なかのしま」6月例会報告》

江見 淑子

センテニアルクラブ6月の会報に「なかのしま」のことがこう書いてあります。「現時点14名、今年中にチャーターの予定」と。本当に6月は「新クラブ誕生」の機運みなぎっていました。

当日のメンバーリストには19名が記載されています。清々しく準備された食卓に順次集まった人を見ても、誰が初回参加者か、準備をずっと支えてきた人なのかすぐには解らない程、自然でした。一人一人の居場所があるというのは、こんな雰囲気のことを言うのでしょうか。

中西部長の役割と約束を果たすために、とメッセージを下された加茂さんのお話は、写真家らしく、イメージの喚起力に富んでいました。沢山のクラブを見ているからこそ解るのですが・・・と具体例を挙げてリーダーシップの在り方、メンバーシップの取り方を提示され、「なかのしま」への「注目」がどんなに熱いものであるかを話されました。

自己紹介では「何故、自分はどこに来たのか」「私に出来ることは何なのか」「何をしたいのか」がその人らしく語られるのを聞き、楽しみました。

時間がオーバーして、応援団の方々にあまり話して頂けなかったほどです。それでも、といて「チャーターまでのステップ」が提示され、「資金も作らなくては」と具体的な話題に方向づけられました。夢を形にするプロセスを味わった例会と言えるでしょう。

参加2度目の者の報告ですから、的が外れていたらお許し下さい。「女性だけのクラブ」ということの意味についていろいろ考えさせられました。男女共生社会を実現する過程に「女学校」が必要だった事情が、まだここにも色濃くあると感じました。メネットさん、コメントさんと呼ばれて大切にされていた立場の人も等身大でメンバーになり、外洋に漕ぎだす力をつける場合があってもいい、と素直に思いました。

女性だけだから発掘できる「年齢層」があるかも知れないこと。女性だから「生活」をがらっと変える加齢性が高く、モデルとサポートの形を蓄積できるのではないかと、等と思いが広がります。

漢文の時間だったか、教育学の講義だったか耳にした「啾啄同時」という言葉を思い出しました。雛が卵から出ようとする啼き声をあげ、母鳥が殻を啄む呼応の特別な時...

センテニアルクラブに準備していただいて、もうすぐ誕生できそうな喜びの広がった会でした。

出席者：初参加者・大岸、鈴木、平田、藤好、山本。
メンバー・江見、川木、杉浦、戸田、長尾、本間、松下、保田、山地、吉岡。
応援団・加茂中西部長、センテニアル4名。

「なかのしまクラブ」
設立総会決まる

6月第2例会の後、関係者により折衝の結果、今年度中西部会のプログラムの中で「なかのしまクラブ」の設立総会を行うことに決定しました。

その後、引続き「西クラブ」の10周年記念のプログラムが行われることになっております。

については、センテニアルクラブの方は、全員今から出席の予定に入れておいて下さい。

中西部会は、9月28日(土)午後2時より、阪急百貨店特別食堂にて開催されます。

1996-1997年度 中西部役員・クラブ会長名簿

(敬称)

【部役員】

中西部長 今村一之(大阪土佐堀)
直前部長 加茂栄三(大阪)
書記 水口美里(大阪土佐堀)
会計 小林裕(大阪土佐堀)

【事業主査】

BF・EF 隅田保(大阪センテニアル)
CS・TOF 中野言男(大阪セントラル)
EMC 森本栄三(大阪高槻)
IBC・YEPP 久保秀美(大阪豊中)
YMCA・ASF 菱川音三郎(大阪千里)
メネット 北村京子(大阪土佐堀)

【部選出代議員】

1995-97 中川健蔵(大阪)、市田忠夫(大阪高槻)
" 井上公男(大阪茨木)
1996-98 長尾亘(大阪土佐堀)

【クラブ会長】

大阪 渡辺藤市郎 土佐堀 福永 勝
豊中 池田清史 千里 井上 巖
枚方 有地 正 高槻 國松 幸夫
センテニアル 栗山 佳三 西 北村久美子
茨木 藤井 英世 セントラル 長尾ひろみ

= 7月お誕生の方 =

Happy Birthday to following people

河村メネット 21日、坂本メネット 21日

= 7月第2例会 =

日時：1996年7月24日(水) 6:30~8:30p.m.
場所：大阪グランドホテル

《 会長退任挨拶 》

「一本の桜の木」

柴田 健

私の家の庭に一本の桜の木があります。この木は今
は亡き父が家内との結婚の記念にと桜の苗木を植えて
下さったもので、もう20数年になり、しっかりと根
を張り、春には美しい花を咲かせます。また夏には緑
の葉が生い茂り、太陽の強い日射しを遮ります。

私も会長をお引き受け一年が終わりました。初めての
経験で実に色々なことがありました。楽しいこと、辛
いこと、困ったこと、などありましたが、気がつく
と、センテニアルクラブも14年余の大木になっており、
私はその大木の傘に守られていると感じました。
提携クラブのハワイより、ヒラナカ氏が来日されたり、
また、例会、役員会を開催、他クラブ訪問、中西部会、
六甲での西副区大会、チャリティランなど多忙な毎日
でしたが、しっかり根づいたセンテニアルの大木は、
メン、メネットさんを始め、幹事さん、書記さん、会
計さんがちゃんと私を支えて下さり、御蔭で、大過な
く会長の任を終えることが出来ました。

またセンテニアルの大木は新たに新しい芽を出し始
め、女性だけのクラブ「なかのしま」を誕生させよう
としております。

行く人、来る人、人様々ですが、センテニアルの木
の下で憩いのひととき過すのもよいものです。

私もこれからはセンテニアルの木の下で家内ともど
も遊びに行こうと思っています。

長い間皆様のお力に支えられ、何とかやってきました。
厚く御礼申し上げます。

《 会長就任挨拶 》 “新しい期を迎えて！”

栗山 佳三

◇ 96~97 会長標語 「進んで参画しよう。」

このたびの私の会長就任は、思いがけない突然の出
来事でした。次期会長はすでに決まっていたが、
健康上の理由で固辞され、私が指名されたのです。

「書記が勤まれば会長も勤まる」などと変な太鼓判を
擦されて入会4年目の新米会長が誕生いたしました。

考えてみれば、経験の浅い分、過去にとらわれずに
新しいことにチャレンジ出来るのではないかと考えて
いますが、一方あまり背伸びをせず、着実にクラブ
の活性化に尽くしてゆきたいと思っています。

今期の私に課せられた最大の課題は「例会の魅力ア
ップ」であると考えています。例会の出席率の問題、
メンバーの減少傾向、社会への貢献活動の不活性化等
クラブの抱える悩みがすべてここから出発しているよ
うに思えるのです。

私は入会以来、他クラブの例会に出席したことはあ
りませんし、また他クラブからのメイキャップを迎
えることも稀です。今期私は少なくとも中西部全クラブ
を訪問し、クラブ同志の交流を深めたいと考えていま
す。これらの中から活性化のヒントが得られそうな気
がします。いずれにしても一部の熱心なメンバーに、
おんぶにだっこするのではなく、全員参画で、お神輿
わっしょいとクラブを盛り立てて行くようにしたいの
です。

この思いの十分の一でも実現したら、私は胸を張っ
て次期会長にバトンタッチ出来るでしょう。

= B F 6 月 分 報 告 =

[6月分の合計・本年度累計は第1面に掲載]

- 切手・現金提供者：(50譚、66譚)
池永、栗山、黒田、上月、柴田、杉浦、鈴木、
隅田、長瀬、福永、三浦、山田、山村
以上 13名

- 本年度最後の切手の中に、ついに期待の異物・
……ラブレッターを発見！
御本人自称、鈴木老会員からで、身に余る
お誉めの言葉をいただきました。
BF担当2年間の役不足をお許し下さい。
嬉しさと淋しさを混ざった？ 気持で、すべて
を次期BF山村メンに託します。よろしく
お願いします。

B F 長瀬

メ ネット 会長 就任 挨拶

中村 幸枝

本年度センテニアルのメネット会長をさせてい
ただくことになりました。この十年間私の子育て
最中に、ずっと考えていたことは、例会にも出席
し、“ワイズを日常のものにしたい”という想
いがありました。

こういうかたちで、皆さんに引っぱり出して
いただいたことに深く感謝いたします。皆さまによ
ろしくご指導いただきたいと思っています。

そして、センテニアルメネット一年生のつもり
で、興味をもって行事に関わっていくつもりです。



○ メネット会長を終えて ○

柴田 暢子

梅雨とはいえ、もうすぐ7月というのに雨が降り止んだり、毎日うっとうしい日が続きます。

皆様お変わりございませんか。早いものでメネット会長を命じられ1年が過ぎました。

私は主人が会長になりましたので、自然とメネット会長という任についたのですが、私自身、ワイズのことも、YMCAのことも、詳しく理解していませんでした。今振り返ってみると、恐いもの知らずで、よくやってこれたものだと思っております。

しかし、クラブの皆さまとお知り合いになり、また他のクラブをご訪問させて頂き、交わりの輪が広がり大変楽しかったのです。

特に鈴木様の奥様には何かとお世話になり、本当に有難うございました。

神戸YMCA復興のバザーや、大津プリンスホテルでの一泊研修会、六甲での西副区大会、チャリティランなど、楽しい思い出がいっぱいです。

長い間つたない私を支えて頂きました、センチメンタルクラブの皆さまに厚く御礼申し上げます。

最終に皆さまのご健勝と、クラブの益々の御発展をお祈りいたし、筆をおかせて頂きます。長い間お世話になり有難うございました。

~~~~ メネット会報告 ~~~~

福永 滋子

6月26日梅雨のさなかでしたが、今年度最初で最後のメネット会を鈴木様宅で開かせて頂きました。

急に決った事でしたので、メネット6名、メン1名、コメット1名と一寸淋しい集まりでしたが、“ほたん園”での楽しい語らいの中で、おいしい昼食を頂き、緑の庭をながめつつ11階に……。

まずメネット会長新旧交替の引継ぎが行われました。柴田会長ご苦勞様でした。中村新会長これからよろしくお願ひいたします。ブリテンのメネット・コーナーの充実を図るため、中村会長と坂本メネットがコーディネートして下さる事に決まり、これからのブリテンが楽しくなりそうです。お若い力に御期待下さい。

靴下・肌着類・お茶の販売も引続きしますので、よろしくお願ひいたします。

鈴木メンとのお話の中で、これからは若いユースを育てる必要がある、特にY'sメンの子供達、孫達の中から育て、行かなければならないことの大切さを説かれ、有益なお話を伺いました。坂本メネット手作りのおいしいシフォンケーキ、アメリカのフルーツケーキや鈴木メンの入れて下さった紅茶を頂きながら、楽しいひとときのうちに4時過ぎ解散いたしました。

出席者名：中村・柴田・鈴木・隅田・坂本・福永  
各メネット、鈴木メン、中村圭コメット。

計8名

▽ 転入会員 プロフィール ▼

氏名：角 正信君  
生年月日：1947年9月25日。福岡県生まれ。  
住所：579 東大阪市上石切町2-1426-16-401  
電話：06-441-5598, \*0729-82-8235(FAX兼)  
現職：大阪YMCA土佐堀館館長  
関西NGO協議会事務局長  
職歴：1970年 大阪YMCAに奉職。以後20  
数年にわたり英語学校・青少年活動(地域・野外・  
体育活動)・進学教育・国際交流活動(聴覚障害  
者国際キャンプや高校生ワールドキャンプなど  
を企画実施)・専門学校等を担当。特に1988年開  
校の新しいタイプの国際学校大阪YMCAインター  
ナショナルハイスクールの学校運営に取組む。  
大阪YMCA国際専門学校校長、YMCA語学  
教育研究所所長等を経て、1996年4月より現職。  
海外研修・会議・引率等出張多数(アジア、欧米等)  
講演・講義多数。(大阪府企画調整部国際室、大阪  
市教育委員会その他。)  
論文著作・翻訳：「生涯教育の一断面」「新国際  
学校のこころみ」「生きる意味を問いつづけて」  
P.フレイレ「被抑圧者の教育学」  
その他：「国際文教研究会」を主宰し、地球的視  
野で個性を育てる学習・教育活動を研究。  
日本キリスト教団西成教会会員  
都山流尺八楽会所属(角 一面)  
学歴：西南学院に中学・高校・大学と一貫して  
学ぶ。英国セリーオーク大学セントアンドリュ  
ースカレッジにて生涯教育・教育学を研修。  
家族：妻 保子(1946年1月31日生)、娘1人。

1996~1997年

日本区常任役員・役員・事業主任

(敬請)

〈常任役員〉

|          |                |
|----------|----------------|
| 理事       | 吉田 一誠 (名瀬グランド) |
| 次期東日本区理事 | 鈴木 健次 (東山)     |
| 次期西日本区理事 | 佐々木宣夫 (剛)      |
| 直前理事     | 太田 太 (鯉鱒)      |
| 東副区理事    | 奈良 昭彦 (鯉入子)    |
| 西副区理事    | 西川 寿一 (鯉バス)    |
| 書記       | 橋爪 良和 (名瀬)     |
| 会計       | 服部 庄三 (名瀬グランド) |

〈役員〉

名誉理事 鈴木謙介(名瀬セントラル)、岩越重雄(名瀬)  
監事 加藤利榮(名瀬わか)、岡本尚男(名瀬キャピタル)

〈事業主任〉

|               |                |
|---------------|----------------|
| YMCA・ASF      | 高田 一彦 (名瀬)     |
| IBC・YEEP・STEP | 中村 悦子 (名瀬グローブ) |
| BF・EF         | 梅原 敬二 (名瀬)     |
| CS・TOF        | 原 仁 (名瀬)       |
| EMC           | 鉄谷 明 (名瀬バス)    |





(1分49秒早くゴールした元 Runner のセンテニアルのランナー)

## ● チャリティラン 参加報告 ●

坂本 千春

6月16日(日)、待ちに待った(?)チャリティランの日がやって来ました。梅雨時期の事なので、お天気が気がかりでしたが、神様がバッチリ、味方しすぎて下さって、もうカンカン照りの好天気でした。

主人と私は、朝、早起きして、家の近くの林を30分程散歩して、チャリティランに備えました。やる気十分でしょう! 義父も土佐堀Y'sの応援をかねて、行くことになり、息子 拓也を供なって、谷川メネットと合流していざ出陣。

会場ではすでに、柴田会長夫妻、隅田夫妻、秋月氏が来られており、受付等の運営のお手伝いをされていました。やがて、山田・栗山・三浦メンの顔もそろい、段々とわくわくして来ました。

およそ11チームの参加があり、多人数の為、開会式を始めるのにかなり時間がかかり、暑さも手伝って /

皆が少々疲れかけたところに、元気のよいYMCAのエアロビクスのインストラクターの指導のもと、ウォームアップをしました。その後、各ランナーは、各ポイントへ移動し、待機をしました。第3・第4走者の栗山氏と私は、同じポイントまで歩いたのですが、その距離の長いこと・・・、走る前のウォームアップが120%になりました。私達は、宣言タイム制にエントリーしていたのですが、速さを競っているチームと同時に走ったため、自然とエキサイトして来て、がんばりすぎてしまいました。結局、私達は、宣言タイム70分より1分49秒早くゴールし、5位になりました。

私の一番の心配事、主人が完走できて一安心でした。

大会で何といっても、目を引いたのが薫英短大の20才の女の子チームでした。彼女達は、真赤なミニのスコート姿でさっそうと、かけ抜け、だんとつ的一位を獲得しました。

表彰式は、すべてのチームを表彰したために、かなりの時間がかかり、暑さの中で私にとっては、少々長すぎる気がしました。

けれど、終ってみると、とても楽しくて、皆で力を合わせてがんばったという爽快感でいっぱいです。

大会を主催・運営された方々に感謝いたします。

来年もパワーアップしてがんばりましょう!

尚、1区 谷川 有美子

2区 三浦 直之

3区 栗山 佳三

4区 坂本 千春

5区 山田 孝彦

6区 坂本 哲朗 でした。

- 58 -

## ▽▽▽ Y M C A ニュース ▽▽▽

大阪YMCA 河村 実

●第2回チャリティーラン予定どうり終了しました。6月16日(日)梅雨間の快晴の中、ランナー、関係者約500名を集めてチャリティーランか鶴見緑地公園で実施されました。センテニアルクラブの皆様、協賛、運営ボランティア、またランナーとして積極的に参加頂き感謝します。収益金は、心身に障害を持つ子どもたちの活動に活用させていただきます。

●YMCAサマーキャンプ募集中。

夏休みを利用したのYMCAサマーキャンプが7~8月に実施されます。徳島県阿南海洋センター、鳥取県呼子高原キャンプ、六甲キャンプ、カナダ、北米など、海山、国内外のプログラムがあります。また成人を /

対象とした次のキャンプがあります。

タイ・ボランティア体験ツアー

8月17日~24日タイ(バンコク、チェンマイ)

第2回国際青年環境保護キャンプ

8月15日(17日)~20日(23日)

中国(上海、西安他)

問い合わせ先...YMCA土佐堀館 06-441-5598

●YMCA「安全を守る日」 7月18日

自分を守り他者を守る思想、日々の安全について再確認しましょう。

●YMCA午餐会

8月29日(木) 午後12時15分~1時45分

場所:大阪YMCA会館

テーマ:「社会潮流ウオッチング」

講師:伊志峰 正廣





## 「中期計画」第2年度報告

中期計画の第2年度は、5月の会員大会で発表された「21世紀に向かう大阪YMCAの使命」(ミッションステートメント)を基盤とする「ビジョン」を創り出すことに取り組んできた。

中期計画委員会(平田 哲委員長)は前年度作成した中期計画をベースに、21世紀に向かって大阪YMCAがなすべきことを鮮明にしていく協議を進めてきた。

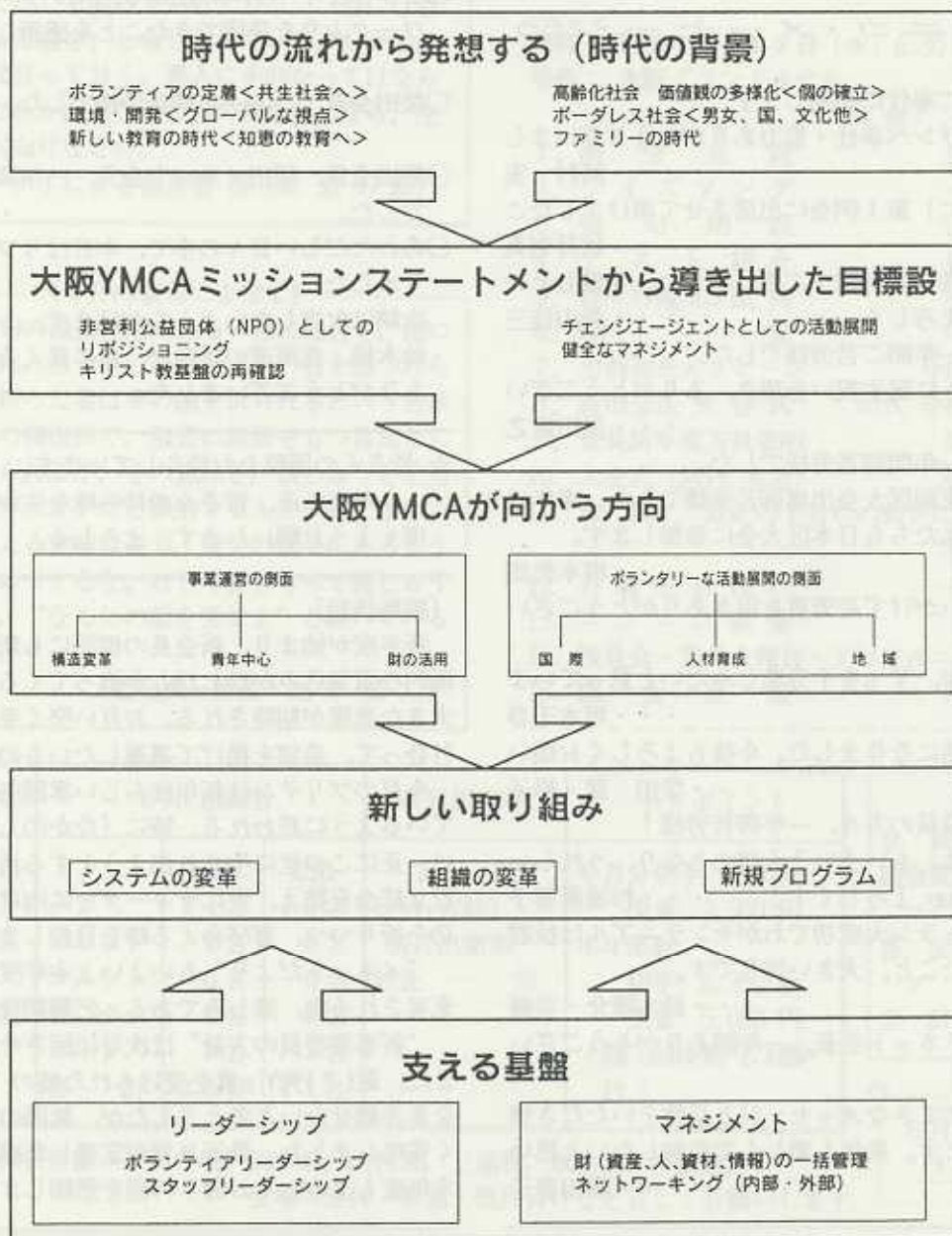
「ボランティア活動」「新しい事業運営」「リーダーシップの革新」の3つの分科会を設置し、それぞれの課題に対応する協議を行い、統合する作業を実施した。

同時に、スタッフタスク会議、若手スタッフの提言チームを設置し、この3つのテーマに対応して検討を重ねた。

それぞれの場面で行われた協議から、「ビジョンと目標」を導き出した。

1995年度は具体的な新しい取り組みを開始し、計画推進に向けての準備を整えることが重点課題になる。

### 西暦2000年に向かう 大阪YMCAのビジョン





## ◇◇◇ クラブ・ソング ◇◇◇

Once more we stand, new zeal our hearts imbuing;  
We raise our hand, Our service pledge renewing,  
We're to deny our motto's claim,  
Y's Men in fact as well as name,  
Always our objects to pursue,  
We consecrate ourselves anew.

うたえば ころろひとつに  
ともがき ひろがりゆきて  
とおきも ちかきもみな  
ささげて 立つやワイズメン  
さかえと ほまれゆたか  
まことは 胸にあふれん

## ☺ニコニコ・メッセージ☺

- ◎柴田会長のご奉仕に感謝します。  
チャリティランへ奉仕・協力ありがとうございました。  
……河村 実
- (久しぶりに)第1例会に出席させて頂きましたこと感謝!!  
……秋月利英
- 真嶋さん、長い間有難うございました。今後もセンテニアルをよろしく。  
……栗山佳三
- 柴田会長、一年間ご苦勞様でした。  
またメネットに誕生祝いを頂き、ありがとうございました。  
……黒田蔵之
- 柴田会長、一年間御苦勞様でした。  
鈴木夫妻、東副区大会出席御苦勞様でした。来年は荷物持ちで私たちも日本区大会に参加します。  
……坂本哲朗
- 今日は、思いがけず遊秀賞を頂きありがとうございました。  
これから一年、Y'sを十分楽しみたいと思っています。  
……坂本千春
- 長い間お世話になりました。今後もよろしくお願ひします。  
……柴田 健・暢子
- 会長はじめ役員の方々、一年御苦勞様!  
「なかのしま」もいよいよ大詰めとなり、うれしいです。Back-up よろしく!!  
……杉浦真喜子
- チャリティーラン大成功でわがセンテニアルは抜群の貢献をしたこと、大きい誇りです。  
……鈴木謙介・美藤
- 柴田会長、メネット会長、一年間ありがとうございました。  
優秀表彰ですてきなメッセージと品物をいただき感謝申し上げます。来年も楽しんで参加したいと思います。  
……隅田恵子

- 今月も皆様にお会いできて嬉しかったです。また、来期も楽しみながら出席したいです。  
……中村幸枝
- 一年間皆様御苦勞様でした。  
……長瀬由香子
- 柴田会長はじめ役員の方々御苦勞様でした。真嶋君お世話になり感謝。特に原稿で。栗山君、書記に続いて休む間もなく会長、本当に大変でしょうが、よろしく。歌を忘れずエンジョイしましょう。お互いに。“日々の糧”の音すみません。……福永嘉彦・滋子
- 長い間お世話になりました。奉仕センターの活動を支援いただき感謝しています。  
ワイズのパワーがさらに力強く伸びてゆくことを期待しています。  
……真嶋克成
- 柴田会長、一年間大変御苦勞様でした。いろいろお世話になりました。  
●チャリティーラン完走できてよかった。  
……三浦直之

- チャリティーランに出場し、センテニアルのチームワークぶりを発揮できたことを感謝します。  
……山田孝彦
- 柴田会長、この一年御苦勞様でした。  
……山村幸明
- 柴田会長、柴田メネット会長、一年間ごくろうさまでした。  
……山村利子
- あわただしい日々の中で、本日はリフレッシュになりました。  
次期は欠席しないよう心がけます。  
鈴木様、北海道の景色が、目に見えるようなお話ありがとうございました。  
……(無名氏)

☆ 皆さんの原稿をお待ちしています。  
今年度こそ、皆さんの持ち味を生かした寄稿を頂くようお願いいたします。よろしく。

### 〔編集後記〕

新年度が始まり、新会長の標語にも新鮮さと共に積極的な意気込みがひしひしと迫ってくる。それだけ、大きな進展が期待される。お互い堅く手を取り合い助け合って、希望を掲げて邁進したいものである。  
今月のブリテンは新年度らしい雰囲気醸し出されているように思われる。特に「なかのしま」の報告には、正にこの世に生まれ出ようとする活気を感じる。設立総会を控え、更にチャーターに向けて、お互い成功を祈りつつ、喜び合える時を目指しましょう。  
“メネットだより”もいよいよ本年度は、より一層充実される由、楽しみである。乞御期待!  
“新事業委員の方針”は次号に回らせて頂きます。また、遊(?)秀Y's賞を受けられた時の“名表彰文”を是非載せたいと考えましたが、紙面の都合上やむなく省略しました。最近8頁が定着した感あり。結構!本年度もよろしくお導きの程を懇願します。(Y.F.)